

[日時]

2019年2月10日[日] 15:00開演★ 11日[月・祝] 15:00開演

★=ポスト・パフォーマンスストアあり

※開場は開演の30分前

※両日とも託児サービスあり(有料1,000円、定員あり、2/2[土]までに要予約)。

Tel. 075 341 5150(日祝除く9:00-17:00)(有限会社ノス)

その他Webフォーム予約可。詳細は上記へお問合せいただくか、ロームシアター京都Webサイトでご確認ください。

[会場]

ロームシアター京都 サウスホール

[チケット発売]

フレンズ会員先行発売:10月13日[土] 10:00-

一般発売:10月20日[土] 10:00-

[チケット料金](金庫指定・税込)

料金:一般3,500円/ユース(25歳以下)2,000円/高校生以下1,000円

※未就学児童入場不可

※ユース、高校生以下チケットご購入者は、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)を

ご提示いただき、指定席券とお引換えいたします。

※車椅子でご来場の方は、事前にロームシアター京都までご連絡をお願いいたします。

[チケット取扱]

《電話・インターネット》

・ロームシアター京都オンラインチケット <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>

・ロームシアター京都チケットカウンター(窓口・電話)

Tel. 075 746 3201(10:00-19:00、年中無休 ※値し臨時休館日あり)

・京都コンサートホールチケットカウンター(窓口・電話)

Tel. 075 711 3231(10:00-17:00、第1・3月曜休 ※祝日の場合は翌日)

・木ノ下歌舞伎 <http://kinoshita-kabuki.org/>

・チケットぴあ <http://t.pia.jp/> Tel. 0570 02 9999(Pコード:489-860)

・ローソンチケット <http://l-tike.com/> Tel. 0570 084 005(Lコード:51559)

(オペレーターダイヤル) Tel. 0570 000 407(10:00-20:00)ほか

・e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

《店舗》

セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルK・サンクス、ミニストップ、ぴあ各店舗

[アクセス]



ロームシアター京都

ROHM Theatre Kyoto

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

Tel. 075 771 6051(代表) Fax. 075 746 3366 <https://rohmtheatrekyoto.jp/>

・京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分。

・京阪電気「神宮丸太町」駅下車2番出口より徒歩約13分。

・市バス32・46系統、京都岡崎エープ「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ」下車すぐ。

・市バス5・100・110系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分。

・市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

[お問合せ]

ロームシアター京都 チケットカウンター

Tel. 075 746 3201(10:00-19:00)

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

企画制作:ロームシアター京都、木ノ下歌舞伎/一般社団法人樹来舎

製作:ロームシアター京都

共同製作:穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、KAAT 神奈川芸術劇場

助成:平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

[登橋、横浜公演]

2019年2月15日[金]-16日[土] 穂の国とよはし芸術劇場PLAT

2019年3月14日[木]-17日[日] KAAT神奈川芸術劇場

作品を楽しむ、深める。 スピノフ! プログラム

公演に向け、作品をより深く楽しむための関連企画を多数開催。学生を中心とするユースプロジェクトメンバーとともに『糸井版 摂州合邦辻』の世界を、劇場の外へも伝えていきます。※「スピノフ! プログラム」についての詳細、ロームシアター京都Webサイトにてご確認ください。

古典精読講座「語り継がれる物語、古典への旅」

9月-12月

歌舞伎、文学、演劇と、かたちを変えて古来より語り継がれてきた『摂州合邦辻』は、現代にも本質的な問いを投げかけています。そんな問作を研究者・詩人らが解説する全4回の連続レクチャーを開催。

[講師:日置貴之、伊藤比呂美、安藤礼二、亀有碧/企画・構成:林立騎]

ポスタープロジェクト

10月-

古典の楽しさ、『摂州合邦辻』の魅力をわかりやすく届ける全4号(予定)のポスターを京都の街かどに掲示。SNSでは伝わらない、体温のある広報活動を展開します。[デザインディレクション:外山央/編集ディレクション:島貫泰介]

トーク&「心中天の網島—2017リクレーション版—」映像上映会

10月18日[木]

木ノ下裕一、糸井幸之介によるトークと昨年度上演した『心中天の網島—2017リクレーション版—』の特別上映会を実施。

まちあるきツアー with まいまい京都

12月2日[日]

『摂州合邦辻』の舞台・大阪を、木ノ下裕一自らガイドする特別ツアー。独自のまちあるきツアーが人気の『まいまい京都』とのコラボ企画です。

[ガイド:木ノ下裕一/共同主催:まいまい京都]

スペシャルブックレット

2019年2月

『糸井版 摂州合邦辻』上演までのリサーチ、制作資料を一冊に収めたブックレットを公演に合わせて制作。

ワークショップ「古典のこぼれを現代語訳する」

2019年3月2日[土]・3日[日]

古典の台本を現代の上演版に作り直す、木ノ下歌舞伎の補綴作業を体験するワークショップを開催。木ノ下裕一自ら、古典のこぼれを聞き、現代に活かす方法をガイドします。[講師:木ノ下裕一]

剥き出しで、生きる。

糸井版

摂州合邦辻

木ノ下歌舞伎

せつしゅうふつぼうがつじ

2019年2月10日[日]・11日[月・祝]

ロームシアター京都 サウスホール

作:菅専助、若竹笛躬

監修・補綴・上演台本:木ノ下裕一

上演台本・演出・音楽:糸井幸之介[FUKAIPRODUCE羽衣]

出演:内田慈、田川隼嗣、土居志央梨、大石将弘

伊東沙保、金子岳憲、西田夏奈子、武谷公雄

石田迪子、飛田大輔、山森大輔

系井版 摂州合邦辻

せつしゅうがっぽうがっじ

木ノ下歌舞伎 ▲

Sesshu Gappo ga

(10月末開設予定)

木ノ下歌舞伎2年ぶりの完全新作は、流転する人と土地の物語。

運命に翻弄される2人の男女を軸に、血族の悲劇として描かれてきた「摂州合邦辻」を大胆に再解釈。

原典とされる能「弱法師」や説経節「しんとく丸」などの要素にあらためて光を当て、

生と死、聖と俗、都市に生きる人々の剥き出しの「生」を音楽劇として示す。

古典の力を現代に呼び覚ます“運動”を続けてきた木ノ下歌舞伎。

その最新形が、今ここに。

[特設サイト(10月末開設予定)]

<https://rohmtreatrekyoto.jp/lp/gappou/>

[作]

菅専助、若竹笛躬

[監修・補綴・上演台本]

木ノ下裕一

[上演台本・演出・音楽]

系井幸之介[FUKAIPRODUCE 羽衣]

[音楽監修]

manzo

[振付]

北尾亘

[出演]

内田慈、田川華嗣、土居志央梨、大石将弘
伊東沙保、金子岳憲、西田夏奈子、武谷公雄
石田迪子、飛田大輔、山森大輔

舞台美術:鳥次郎、角浜有香 照明:吉本有輝子
音響:小早川保隆、星野大輔 衣裳:大野知英 ヘアメイク:須山智未
演出助手:岩澤哲野、山道弥栄 舞台監督:大鹿展明
制作:武田知也、宮崎麻子[以上、ロームシアター京都]、本郷麻衣



内田慈



田川華嗣



土居志央梨



大石将弘



伊東沙保



金子岳憲



西田夏奈子



武谷公雄



石田迪子



飛田大輔



山森大輔

デザイン:外山央 写真:吉次史成 編集協力:鳥賀泰介

真っ赤な夕日を追いかけて、俊徳丸は出奔する。あの夕焼けの果てに西方浄土があるのだと信じて。

それを追う玉手御前。彼女は月のような清廉さを宿しながら、深い深い闇を背負って追いかけて。

まると、太陽と月が終わらない追いかけてを続けているようだ。宇宙と、人間が呼応する物語。

自分以外のものを守りたいと思った時、はじめて人は、宇宙と匹敵するくらい大きな力を得ることができるのかもしれない。

そのためには、取り繕ってなむていられない。

——木ノ下裕一

[あらすじ]

大名・高安家の跡取りである俊徳丸は、才能と容姿に恵まれたがゆえに異母兄弟の次郎丸から疎まれ、継母の玉手御前からは許されぬ恋心を寄せられていた。そんな折、彼は業病にかかり、家督相続の権利と愛しい許嫁・浅香姫を捨て、突然失踪してしまう。しばらくして、大坂・四天王寺に、変わり果てた俊徳の姿があった。彼は社会の底辺で生きる人々の助けを得ながら、身分と名を隠して浮浪者同然の暮らしをしていたのだ。そこに現れる、浅香、次郎丸、玉手と深い因縁を持つ合邦道心。そして、誰にも明かせない秘密を抱えたまま消えた玉手が再び姿を見せた時、物語は予想もしない結末へと突き進む。

[[摂州合邦辻]とは]

安永2年(1773年)に大坂で初演された菅専助作の浄瑠璃作品。古くから民間に伝わる「しんとく丸伝説」を下敷きに、能の「弱法師」や説経節の「しんとく丸」「愛護の若」などの要素を複合せた脚色が施され、人気を博した。主な役名に実在の地名を当てはめるなど、舞台である大坂との繋がりを意識した内容になっている。

[プロフィール]

木ノ下歌舞伎

歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する団体。あらゆる視点から歌舞伎にアプローチするため、主宰である木ノ下裕一が作品の補綴・監修という立場をとりつつ、さまざまな演出家による作品を上演するというスタイルで、京都を中心に2006年より活動を展開している。「三人吉三」で、読売演劇大賞2015年上半期作品賞にノミネート。主宰の木ノ下は2016年に博士号(芸術博士)取得。「勳進帳」の成果に対して平成28年度文化庁芸術祭新人賞受賞。渋谷・コクーン歌舞伎「切られの与三」(2018)の補綴を務めるなど、外部での古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。平成29年度京都市芸術文化特別奨励制度奨励者。公益財団法人セゾン文化財団ジュニア・フェロー

系井幸之介[劇作家・演出家・音楽家]

1977年東京生まれ。劇作家・演出家・音楽家。2004年に女優の深井順子により旗揚げされたFUKAIPRODUCE羽衣の全作品で作・演出・音楽・美術を手掛ける。全編の7割ほどを演者が歌って踊る、芝居と音楽を融合した独自の作風を“妙・ジカル”と称し、唯一無二の詩的作品世界と、耳に残るオリジナル楽曲で高い評価を得ている。世田谷区芸術アワード“飛翔”2008年度舞台芸術部門受賞。FUKAIPRODUCE羽衣第22回公演「瞬間光年」(2017年上演)にて第62回岸田國士戯曲賞最終候補。多摩美術大学講師。公益財団法人セゾン文化財団シニア・フェロー。



photo:Takuya Matsumi

「レパトリーの創造」とは:ロームシアター京都が2017年度から開始したプログラムで、来永く上演されるレパトリー作品を劇場が生みだすべく、ロームシアター京都が主体的にプロデュースする事業です。レパトリーの創造から地域における劇場文化をつくることを目指し、2017年には第一弾として木ノ下歌舞伎「心中天の網鳥ー2017リクリエーション版ー」を制作・上演しました。